

新まちづくり計画（H16～18）事業総括調書

施策体系コード	3-4-2		事業名	乗継施設整備検討
担当	市)総合交通計画部交通計画課 成田(211-2275)			
全体計画（当初）				
事業内容	公共交通の利便性の向上に向けて策定した「乗継施設等整備基本計画」の中で、乗継施設整備の緊急性及び優先性が高いとされ、施設整備を一体的に整備する必要がある各駅周辺等について、早期の都市計画決定を目指した具体的検討を行います。		＜年度別の事業内容＞	
	新さっぽろ駅周辺 乗継円滑化に向け、自由通路・広場の都市計画決定に必要な調査・検討		平成16年度 都市計画決定に向けた調査検討(新さっぽろ駅)……地元町内会との勉強会(栄町駅)等	
	地下鉄栄町駅等 乗継円滑化に向けての検討		平成17年度 都市計画決定に向けた調査検討(新さっぽろ駅)……地元との勉強会および、ワークショップ(栄町駅)等 平成18年度 - - - - - " - - - - -	
事業内容 (量・場所・規模等)	平成16年度事業内容(決算)		平成17年度事業内容(決算)	
	<p>新さっぽろ駅周辺 都市計画決定に向けた、交通量調査および将来幅員等の検討を実施しました。</p> <p>地下鉄栄町駅 H15に地元連合町内会からのバスターミナルの設置要望書を受け、地元との勉強会を実施しました。 また、勉強会と合わせて、地元ニューズレターを配布し、交通問題に対する情報提供を実施するとともに、地元意向を把握するためにアンケート調査を実施しました。</p>		<p>地下鉄栄町駅 平成16年度に引き続き、地元町内会との勉強会、ニューズレターの配布等を継続するとともに、バス利用者等へのヒアリング、幅広く住民意見を把握するための、ワークショップを開催しました。</p>	
事業内容 (量・場所・規模等)	平成18年度事業内容(決算)		評価(成果)	
	<p>地下鉄栄町駅 地元町内会との勉強会と、ワークショップを継続し交通諸問題の解決に向けた対策として、自転車駐輪や、乗継環境の改善に向けた待合機能等を検討し、対策の有効性を検証しました。</p>		<p>地元との勉強会、ワークショップなどの場を通じて、意見集約を実施し、問題点の把握ができました。 これらを基に、乗継環境の改善や違法駐輪対策に向け、地元と連携した今後の展開が確認できました。 また、地元ができることは自ら行う意識が高まり、17年度はまちづくりの一環として、「スノーキャンドル」を実施し、雪まつりを支援する地元の活動が実現しました。</p>	
課題				
<p>乗継環境の改善策、駐輪対策などの実施に向け、交通事業者や道路管理者との調整を行った上で、事業手法や事業計画を検討する必要があります。 また、地元と行政が連携したまちづくりに向けた検討を、さらに深める必要があります。</p>				
19年度以降の方向性(事業予定)				
<p>栄町駅については、乗継環境の改善に向けて、地元との話し合いの場を継続するとともに、社会実験などの検証を行い、有効性を確認の上、待合所整備に取り組みます。 また、駐輪対策として必要量の駐輪場を確保できた時点で、自転車の放置禁止区域をかける方向で調整を図ります。 JR苗穂駅周辺については、平成17年度に住民・企業・行政の協働で策定された「苗穂駅周辺地区まちづくり計画」において、周辺の再開発・まちづくりに併せてJR駅舎の移転も計画されていることから、それに対応した駅前広場や南北自由通路の施設検討を行います。</p>				

